

卒業論文

大学教育における SNS の活用
—授業運営で SNS を利用した試み—

Application of Social Network Service in College Education
—Experimental Trial of SNS in Class—

提出日 2013 年 1 月 30 日

指導教授

齋藤正武 准教授

中央大学

商学部 会計学科

09C2125015H

山口雅也

大学教育における SNS の活用

—授業運営で SNS を利用した試み—

中央大学 商学部 会計学科 斎藤正武ゼミ
山口雅也(09C2125015H)

2000 年前後から発展してきた e ラーニングは、近年のインターネットの普及率、そして薄型ノート PC やスマートフォン、タブレットの進展から、教育現場での利用を推進する動きが活発化している。さらに人との繋がりを促進する Web サービスである SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を教育に活用しようとする試みも始められている。

そこで本研究は、大学の講義における講義形式、ゼミ形式の授業を対象として、授業進行に SNS を利用した実験をし、考察を行った。具体的には、1)議論するテーマによる学生のモチベーションや行動に影響する要因を考察し、2)多人数の講義における SNS の利用とその実態について調査し、3)少人数のゼミでの議論において、4つのパターンに分けた実験から、SNS の利用可能性について考察した。

結果として、特定のテーマや議論環境によって SNS が学生の学習するうえで、良い影響を与えていることが分かった。学生のモチベーションの維持、学習の促進役として **Facilitator**(:集団による知的相互作用を促進する働きを行う者)が重要な役割を果たしていることも分かった。しかし、教育の質の向上に関しての明確な定義がないことや、実験の分析方法にもいくつかの課題を残す結果となった。

今後の課題として、将来的な SNS×教育の可能性をさらに追及するため、SNS を利用したさらなる実験を積み重ねて、大学教育の質の向上を目指すことが必要と思われる。